

ぱれっとスタッフによる 福祉用語解説

●成年後見制度のメリット

成年後見制度に興味があったとしても制度が難しく、少し調べただけでは分かりづらい面があります。今回は成年後見人制度について解説していききたいと思います。

・成年後見人等の方々には、ご本人がどのような生活をしているか、どのくらい財産を持っているかを調べてご本人に合った生活のしかたやお金をどう使っていくかを考えてくれます。お金を管理してもらえるため、経済的な破綻を予防できます。また公共料金の支払いや年金受領の確認、預金からの生活費の引き出しなど、日常的なお金の管理を行なってくれます。グループホームでは後見人の方々と連絡し合いお小遣いを決めたり、日々必要なお金の相談共有など、ご本人の生活に必要な金銭管理を行なってきています。また区などから本人宛に届く書類等も管理、手続きをして本人をサポートしてきています。

・ご本人の思いや生活の様子を考えて、福祉サービス利用に必要な施設の入所に関する契約を選んだり、年金を受け取るために必要な手続きや入退院手続き等の生活に必要な契約を代理で行なったりします。

ご本人も高齢になるにつれて仕事の変化や体調の変化が起こることが考えられます。もしそうなった時に必要な手続きをわかりやすく説明をしてくれたり、ご本人に代わって手続きや契約を行なってもらえるため本人にとって安心した生活を送ることが出来ます。

ぱれっとの職員による「福祉用語解説」。第8回も、「その人らしい生き方と安心を支える」ために必要な支援の一つ、成年後見制度について取り上げます。

成年後見人を立てると、ご本人にとって安心した生活を送ることが出来ます。ただ便利な制度である反面、新しい制度である為まだまだ課題があります。

その一つが成年後見人を立てる為の申立てにかかる費用です。鑑定調査や診断、書類などにかかる費用等。成年後見人への報酬は財産から家庭裁判所が判断します。成年後見人が選任されると基本的には後見制度が生涯続きます。

●市民後見人

・今回は制度の新たな担い手として注目されている市民後見人についても解説していききたいと思います。

市民後見人とは社会貢献への意欲が高い一般市民の方で市区町村が実施する養成講習を身につけた方の中から後見人等として選任された方の事です。ご本人の意思を尊重し心身の状態や生活状況に配慮しながら、福祉サービスを利用する際の契約や財産の管理などを行ないません。市民後見人の方はボランティア活動が多い為、家庭裁判所が選任する成年後見人よりも費用が抑えられ、また市民後見人の方はご本人と同じ地域に住む方なので、市民の目線でご本人の意思を丁寧に把握し地域に密着した活動を行なうことを期待されています。後見制度に興味がありましたら市区町村が行なっている成年後見センターにまずは相談してもらい専門職の方からお話を聞けば制度についてより分かりやすくなるかと思えます。

(えびす・ぱれっとホーム 佐藤裕)